

出版ダダリよ

I PA大会特集
第134号

今、私の手許になつかしい一葉の写真があります。スペインのバルセロナの街を行く下中邦彦氏と私との写真です。昭和三十七年、世界の出版人の檯舞台であるＩＰで、アメリカでも開催されたこと

IPA大会へ出版界の総力を

國際出版聯合

た世界」へと飛翔するわけで、IPAそのものにとっても、まことに画期的な年になるわけです。

現在、日本へ流入する海外の情
報量と日本から流出するその量の

われわれは、今までにもIPAの活動の中で大いに啓蒙され、多くのことを学んできましたが、

に、日本海外向けの情報はまことに貧弱なもので、これによる政治・経済文化など各方面にわたる不利益は計り知れないものがあると考へられます。今回のように世界の出版界をリードする有力者たちが大挙して来日することは、日本の

出版界にと
っては未だ
嘗てなかつ
たことです
し、近い将
来にも考え
られないこ
とです。

を持つIPAの大会は、幸いにも
三笠宮殿下を名譽総裁にあおぎ、
また、政府関係のご理解、ご援助
をいただき、さらに関連業界のご
後援も得られて主催者としてはま
ことに感謝に堪えない次第であり
ます。

大会では文化交流と振興のための討議が繰り広げられ、国情、人種、風土を超えて国際連帯の花が咲く。そしてこれらの各国のペンの大使たちが日本で、日本及び日本人についての正しい認識を深め、実際に見聞したことを、お喋りしたのは、天の時、地の利、それにもまして、人の和が大切であることがいわれております。機は熟して今、山紫水明、日本文化の香り高い京都の地で、そして国際会議場の立派な舞台の上で、大会が開かれようとしています。

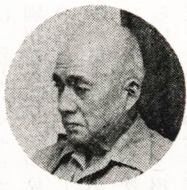
何物でもありません。下中大会実行委員長のもとに日本の全出版人は結集し、この壮挙に力いっぱい取り組もうではありませんか。各位のご協力を心からお願い申し上げます。

(IPA 京都大会会長・講談社社長・出版クラブ副会長)

主な記事

- ▽IPA大会へ出版界の総力を
- ▽世界に出版の輪を……………
- ▽IPA大会会議日程と議題……………
- ▽そのみどころきどころ……………
- ▽私にとってIPAは……………
- ▽IPAの舞台裏で……………

野間省一……一
下中邦彦……二〇五
金平聖之助……八〇十四
日高充宜……十一
宮田昇……十三
村松増美……十四



野
間
省
一